

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第2部門第7区分

【発行日】平成26年5月22日(2014.5.22)

【公開番号】特開2013-173588(P2013-173588A)

【公開日】平成25年9月5日(2013.9.5)

【年通号数】公開・登録公報2013-048

【出願番号】特願2012-38770(P2012-38770)

【国際特許分類】

B 6 6 B 5/28 (2006.01)

B 6 6 B 7/00 (2006.01)

B 6 6 B 11/00 (2006.01)

【F I】

B 6 6 B 5/28 Z

B 6 6 B 7/00 M

B 6 6 B 11/00 A

【手続補正書】

【提出日】平成26年4月4日(2014.4.4)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

スペーサ本体と、

スペーサ本体の両端にそれぞれ設けられたフランジと、

を有するカウンターウエイトスペーサの着脱作業に使用するカウンターウエイトスペーサ用治具において、

隣接した2つのフランジを外周側から挟み込み可能な、少なくとも2個の断面コ字状の治具本体と、

治具本体に接続され、作業中における治具本体の落下を防止する落下防止金具と、  
を有し、

落下防止金具は、治具本体の取り付け対象となるフランジ以外のフランジに取り付けられる、

ことを特徴とするカウンターウエイトスペーサ用治具。

【請求項2】

請求項1に記載のカウンターウエイトスペーサ用治具において、

治具本体には、隣接した2つのフランジを締結する締結部材との接触を避けるための切欠き部が形成される、

ことを特徴とするカウンターウエイトスペーサ用治具。

【請求項3】

請求項1または2に記載のカウンターウエイトスペーサ用治具において、

治具本体は、下側のフランジとの接触面に設けられ、そのフランジに吸着する吸着部材を有する、

ことを特徴とするカウンターウエイトスペーサ用治具。

【請求項4】

請求項1から3のいずれか1つに記載のカウンターウエイトスペーサ用治具において、

治具本体は、フランジとの接触面に形成され、治具本体とフランジの相対的移動を容易

にするガイド部を有する、

ことを特徴とするカウンターウエイツペーサ用治具。

【請求項 5】

請求項4に記載のカウンターウエイツペーサ用治具において、

ガイド部は、上側のフランジとの接触面に設けられ、治具本体の長手方向に伸びるよう  
に形成される溝構造である、

ことを特徴とするカウンターウエイツペーサ用治具。

【請求項 6】

請求項1から5のいずれか1つに記載のカウンターウエイツペーサ用治具において、

治具本体は、長手方向の一端に、その長手方向に直交するフランジの外面に当接する当  
接部を有する、

ことを特徴とするカウンターウエイツペーサ用治具。

【請求項 7】

請求項6に記載のカウンターウエイツペーサ用治具において、

当接部は、フランジに対応するように取り付けられる2つの治具本体を接続するよう  
に形成される、

ことを特徴とするカウンターウエイツペーサ用治具。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明は、スペーサ本体と、スペーサ本体の両端にそれぞれ設けられたフランジと、を  
有するカウンターウエイツペーサの着脱作業に使用するカウンターウエイツペーサ用  
治具において、隣接した2つのフランジを外周側から挟み可能な、少なくとも2個の  
断面コ字状の治具本体と、治具本体に接続され、作業中における治具本体の落下を防止す  
る落下防止金具と、を有し、落下防止金具は、治具本体の取り付け対象となるフランジ以  
外のフランジに取り付けられることを特徴とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0011

【補正方法】削除

【補正の内容】